

## PRESS RELEASE

2022年12月20日

株式会社プレミア・ブライトコネクト

### JVCケンウッド社製「STZ-DR10」の提供開始 緊急通報サービスに対応、交通事故リスクの低減を目指します。

株式会社プレミア・ブライトコネクト（本社：東京都千代田区、代表取締役：吉澤 成一郎、以下「PBC」）は、エコモット株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役：入澤 拓也、以下「エコモット」）と共同し、株式会社JVCケンウッド（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：江口 祥一郎、以下「JVCケンウッド」）が開発、製造している通信機能付きドライブレコーダー「STZ-DR10」にエコモットが開発しPBCが提供する交通事故削減ソリューション「Pdrive」と株式会社プレミア・エイド（本社：東京都千代田区、代表取締役：吉澤 成一郎、以下「PAD」）の緊急通報サービスを組み合わせ、2023年2月1日に提供を開始いたします。

#### ■提供開始の背景

PBCでは、ドライブレコーダーの動画データを蓄積・専用システムからの確認を可能とする交通事故削減ソリューション「Pdrive」を組み合わせた通信型IoT機器の設計・開発、販売、レンタルを行っています。

JVCケンウッドの開発、製造する「STZ-DR10」はAIを搭載しており、危険運転を検出しリアルタイムでドライバーやその管理者へ警告を出すことで交通事故の予防に繋げるドライブレコーダーです。

「STZ-DR10」に「Pdrive」とPADの緊急通報サービス（※）を組み合わせることで、交通事故の予防、事故発生時の迅速な情報の連携を可能とし、利用者がより安全に運転できる環境を実現いたします。

「STZ-DR10」は、主に自動車保険を提供している損害保険会社や自動車ディーラー、リース会社のほか、「Pdrive」により商用車の交通事故削減や業務効率向上を図る管理ができることから、車両を保有する法人への拡販を目指します。

（※）緊急通報サービス：PADが提供する、運転中に事故や急病による体調不良が発生した時、車両や建物、モバイルデバイスから発信された位置情報、デバイス情報、事故映像などのデータに基づき、利用者の状況を即座に察知し、最寄りの公的機関へ迅速に連携するサービス。

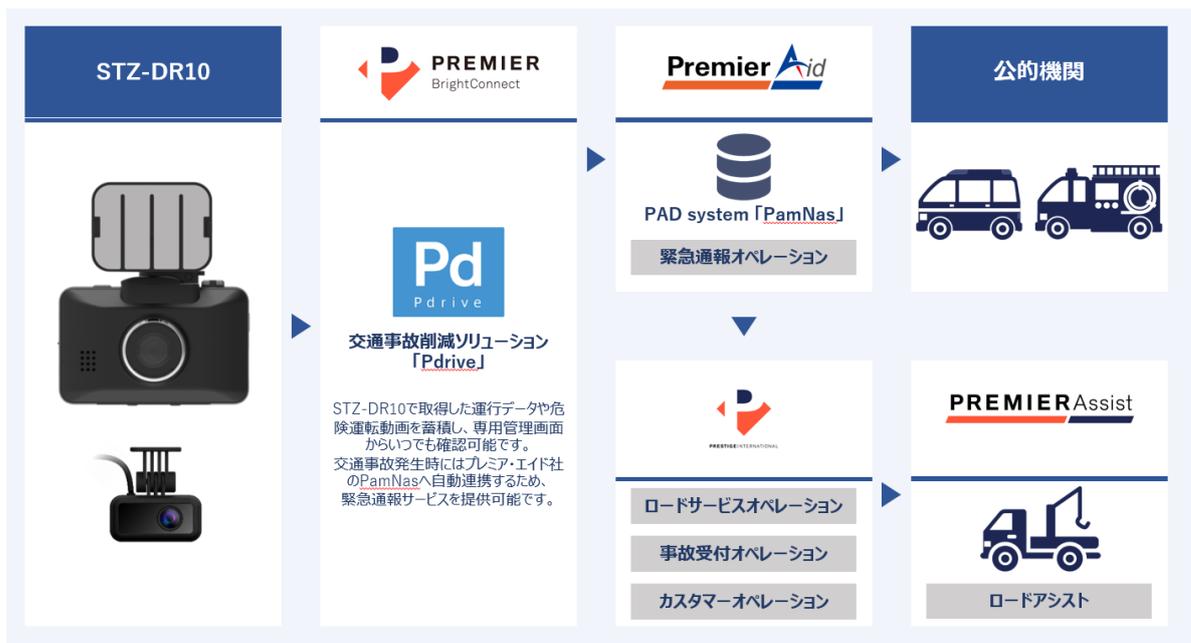
■商品概要

特徴1：最新技術を搭載したAIドライブレコーダー

運転手の挙動を車内用カメラにて撮影し、ふらつき、ながらスマホなどの交通事故の要因となる危険運転をAIが検出し、リアルタイムでドライバーやその管理者へ警告を出すことで、交通事故予防を実現します。駐車監視機能による駐車時の盗難対策や、「Pdrive」との連携によるスマホ連携型のアルコール検知器との連動も可能です。

特徴2：緊急通報サービスとの連携、事故発生時に音声通話が可能

「Pdrive」にて蓄積している「STZ-DR10」で撮影した映像を、交通事故時に緊急通報サービスのシステムへ自動で連携いたします。連携された映像は公的機関やオペレーションセンターへ即時に連携され、運転手はオペレーターへ音声通話にて状況を伝えることが可能です。



本件に関するお問い合わせ先は下記までお願いいたします。

株式会社プレミア・ブライトコネクト

広報担当：朴澤（ホオザワ）

TEL : 03-5213-0970

E-mail : info@premier-bc.co.jp